

審査員紹介



白石光隆
(ピアノ・審査委員長)

東京藝術大学附属高等学校を経て、東京藝術大学、同大学院を修了。1989年ジュリアード音楽院へ進む。1990年ジーナ・バッカウアー国際奨学金コンクール入賞。1991年学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、リンカーンセンターでジュリアード・オーケストラと協演。1992年帰国。1994年第63回日本音楽コンクール声楽部門において、優れた日本歌曲の演奏に贈られる木下賞（共演）受賞。特筆すべきはその生き生きとした、圧倒的なリズム感と構築性、そして独自の宇宙を感じさせる微細なまでに磨かれた美しい音である。またレパートリーが広く、邦人、現代作品など分野を問わず才能が遺憾なく発揮されている。財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業などの活動では全国を巡り、子どもたちへの教育プログラムにも積極的に取り組む他、後進の指導やさまざまなコンクールの審査員も務める。1年間の活動の集大成として、毎年定期的に東京で開催するソロリサイタルは2025年9月で38回を数える。意欲的なプログラムとさわやかなステージも魅力的、数少ない実力派である。ピアノを金澤桂子、高良芳枝、伊達純、小林仁、マーティン・キャンニンの各氏に、室内楽をフェリックス・ガリミア、伴奏法をジョナサン・フェルドマンの各氏に師事。現在、東京藝術大学、お茶の水女子大学非常勤講師。



磯絵里子
(ヴァイオリン)

桐朋学園大学卒業後、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学し、修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクールほか国内外のコンクールで入賞。ソリストとして日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、チェコフィル、フランダース放送響他国内外のオーケストラと多数共演し、「知性と感性と技術の実力派」と高い評価を得る。宮崎国際音楽祭へは毎年参加、「題名のない音楽会21」「アインシュタインの眼」「クラシック倶楽部」ほかテレビ・ラジオ出演も多く、2010年よりFMヨコハマ「磯絵里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務めている。ソロ活動に加え、「デュオ・プリマ」「EnsembleΦ（ファイ）」「椿三重奏団」など室内楽でも多彩な演奏活動を展開。（一財）地域創造公共ホール活性化支援事業登録アーティストとしてアウトリーチ活動にも積極的に参加している。デビュー以来10枚のCDをリリース。2020年2月に発売された椿三重奏団のCDは「レコード芸術特選版」に選出された。真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり「気負いのないしなやかな活動ぶり、クラシック音楽シーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評されている。洗足学園音楽大学講師。 <https://erikoiso.jp/>



田村真寛
(サクソフォン)

神奈川県出身。東京藝術大学卒業。同大学在学中に安宅賞を受賞。第3回ジュニア・サクソフォン・コンクール第1位。第19回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第1位、及び特別賞を受賞。（財）地域創造公共ホール音楽活性化事業 支援アーティストとして各地でアウトリーチ活動を行う。クローバー・サクソフォン・クワルテットアルト・サクソフォン奏者としてCD「CLOVER」「Precious」「ゴルトベルク変奏曲」をリリース。アンサンブル・フィラアルバメンバー。オーケストラの客演奏者としても各地のオーケストラに多く出演。CM、ドラマ等のレコーディングにも多く参加。これまでにサクソフォンを大和田雅洋、須川展也、富岡和男の各氏に、室内楽を須川展也、中村均一、故小林裕の各氏に、ジャズを浜崎航氏に師事。洗足学園音楽大学、神奈川県立相模原弥栄高等学校、各非常勤講師。



加藤直明
(トロンボーン)

東京藝術大学音楽学部卒業。トロンボーンを故白石直之、故永濱幸雄、神谷敏、イアン・パウスフィールド、箱山芳樹、山本浩一郎の各氏に、室内楽を栗田雅勝、神谷敏の各氏に師事。東京藝術大学管弦楽研究部（現・藝大フィルハーモニア管弦楽団）を経て、現在はソリストとして、またTrio"N"や金管五重奏団BuzzFiveのメンバーとして全国各地のコンサートに出演。また、アウトリーチ活動も積極的に行っており、その功績はオーディションの審査員や研修会講師としても招かれる程厚い信頼を得ている。（一財）地域創造《公共ホール音楽活性化支援事業》、（公財）ソニー音楽財団《こどものためのクラシック》各登録アーティスト。Trio"N"、金管五重奏団BuzzFive、アンサンブル東風、The Best Bee-Brass in Japan、シンフォニエッタ静岡各メンバー。



大森智子
(ソプラノ)

みずみずしい感性に透明感と温もりを併せ持つ歌声で常に聴衆に喜びを与えている歌い手である。昭和音楽大学卒業、特別賞受賞。パリ・エコールノルマル音楽院を審査員全員一致の首席で卒業、審査員特別賞受賞。パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。声楽を細川久美子、南條年章、エディット・セリグ、ペーテル・ゴットリーブ、牧野正人の各氏に師事。ナンテール市立劇場でのオペラ「カルメン」ミカエラ役でデビュー、パリ・オペラ座「カルメル会修道女の対話」や各種コンサートに出演。帰国後は「リタ」「愛の妙薬」「ルチア」「マクベス」「イル・カンピエッロ」「仮面舞踏会」「魔笛」などのオペラに出演のほか、宗教曲や全国各地でのコンサートでも活躍している。また、自身ライフワークにもしているアウトリーチ活動においては、近年アウトリーチアーティスト養成事業の講師としても各地で招かれ成果を残している。CDは「モンテヴェルディ集～祈りの歌」「やわらかな歌」「やすらぎのアヴェマリア～音楽療法ベスト」があり、2020年にはピアニスト田村緑とのユニット『デュオ・ナチュレル』のアルバム「デュオ・ナチュレル」を発表。楽譜の監修も数多く務め、最新刊は「ピアノと歌うオペラアリア～オンブラ・マイ・フ」（ヤマハミュージックメディア）。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。第16回国際古楽コンクール《山梨》第2位（声楽で最高位）。（一財）地域創造公共ホール音楽活性化事業協力アーティスト。昭和音楽大学および大学院講師。藤原歌劇団団員。



吉川健一
(バリトン)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所プロフェッショナルコース第6期修了。トルトーナ国際音楽コンクール、ラッコニージ国際音楽コンクール、第20回奏楽堂日本歌曲コンクールなど国内外のコンクールで入賞する。大学院オペラ「フィガロの結婚」タイトルロールでオペラデビュー後、イタリアに留学しヴィヴァルディ国立音楽院に学ぶ。世界的名バリトン、パオロ・コーニ氏の愛弟子として研鑽を積みながらイタリア各地の歌劇場に出演。その他、宗教曲ソリストとしてイタリア国内ツアーやポルトガルへの演奏旅行など、数々の舞台経験を積む。帰国後、二期会公演「魔笛」パパゲーノ役に抜擢され成功を収めるのを皮切りに、同二期会公演「ジャンニ・スキッキ」「天国と地獄」「サロメ」、新国立劇場「オルフェオとエウリディーチェ」（パレエ主催公演）「コジ・ファン・トゥッテ」（特別演奏会）「沈黙」「ピーター・グライムズ」「夕鶴」「蝶々夫人」「魔笛」「カルメン」「ジャンニ・スキッキ」「セビリアの理髪師」「夜鳴きうぐいす」、日生劇場公演「夕鶴」「利口な女狐の物語」、ヴェルディ生誕200周年記念東京・春・音楽祭「ファルスタッフ」タイトルロール等の他、武蔵野市市制施行70周年記念武蔵野市・ブラショフ市友好交流25周年記念コンサート 第九ソリストとしても好評を博している。また平成20～21年度地域創造登録アーティストとして活動しアウトリーチを全国に展開する他、子供向けのコンサートにも積極的に参加している。二期会会員 公式サイト <http://keny.ciao.jp/>

第14回

サンハート アンサンブル・コンクール

Sunheart Ensemble Competition

参加者募集

—音楽の力で 街に 笑顔と感動を—

「サンハート・アンサンブル・コンクール」は、
■演奏家の総合的な音楽表現力の育成
■演奏家が自らの音楽活動を通じて社会貢献できる仕組み作り
■地域社会において、あらゆる立場の方々が、質の高い音楽に触れられる環境作り
という3つの趣旨に基づき、2012年にスタートいたしました。本コンクールでは、通常のコンクールなどで審査される演奏技術や音楽性に加え、プログラム構成力やプレゼンテーション力、さらにお客様の心に響くパフォーマンス力など、総合的な表現力を含めた評価がなされます。
これまで入賞された方は、当館が主催するコンサートや、地域各所でのアウトリーチコンサートにご出演いただき、幅広い世代のお客様へ音楽の楽しさと素晴らしさをお届けいたしました。次の出演者はあなたです！

募集部門

♪弦楽ピアノデュオ部門
♪管楽ピアノデュオ部門
♪室内楽部門
♪歌とピアノデュオ部門
♪重唱部門
♪ピアノ連弾部門

開催日

《予選》2025年11月15日(土)
《本選》2025年11月16日(日)

応募期間

6月15日(日)～ 10月5日(日)必着

主催・問い合わせ

横浜市旭区民文化センターサンハート（指定管理者：横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立共同事業体）

〒241-0821 横浜市旭区二俣川1丁目3番地 ジョイナステラス3 5階

☎ 045-364-3810 （9時～21時・不定休） 協力：大阪国際音楽コンクール / アルソ出版株式会社

✉ sunheart@sunheart.info 🖥 <https://www.sunheart.info>

第14回 サンハート・アンサンブル・コンクール 募集要項

日程・会場

[予選]2025年11月15日（土） サンハート ホール
[本選]2025年11月16日（日）

参加料

一組6,000円（予選及び本選の参加料として）
右記QRコードからお求めいただけます。（別途330円の発券手数料がございます。
（または「チケットベイ」ウェブサイトより「サンハート」で検索）



↑「チケットベイ」
応募チケット購入サイト

募集部門

- ◆弦楽ピアノデュオ
◆管楽ピアノデュオ
◆室内楽（楽器編成自由、8人構成まで）
- ◆歌とピアノ
◆重唱（伴奏者含め、8人編成まで）
◆ピアノ連弾

応募資格

国籍不問、年齢制限なし 応募期間 2025年6月15日(日)～10月5日(日)必着

賞

- 最優秀賞（1組、表彰状贈呈、サンハート主催「最優秀賞受賞記念コンサート」に出演）
- 優秀賞（3組程度、表彰状贈呈、サンハート主催事業（アウトリーチを含む）に出演）
※最優秀賞及び優秀賞の受賞組は、審査員の推薦がある場合、来年度の大阪国際音楽コンクールファイナルへの推薦が可能です。
- アルソ出版社賞（1組、表彰状贈呈、アルソ出版発行「THE FLUTE」「THE SAX」の何れか一冊を各演奏者に一年間無料贈呈、もしくは「THE CLARINET ONLINE」の1年間無料購読（有料・無料記事とも）、誌上に「アルソ出版」受賞組の記事を写真入りで掲載。
- 聴衆賞（1組、表彰状）
※出場全組に、審査員の講評を差し上げます。 ※賞の内容は館の都合により、変更となる場合がございます。

課題・審査基準

演奏時間	部門	課題	審査指標
予選 8分間	弦楽ピアノデュオ	【曲目自由:2曲】 クラシックを中心とした楽曲(邦楽可)	・音楽性 ・テクニック ・アンサンブル性 など含め総合的に評価
	管楽ピアノデュオ		
	室内楽		
	歌とピアノ	リートデュオ（歌とピアノのデュオ）の曲 ※但し、ドイツ・フランス・ロシアの歌曲から任意の1曲と自由曲（リートデュオ）1～2曲	
	重唱	オペラ・オペレッタ・オラトリオの重唱曲から任意の1曲と自由曲1～2曲	
	ピアノ連弾	モーツァルトのピアノ連弾のための作品から任意の1曲（任意の楽章）	
本選 20分間	弦楽ピアノデュオ	【曲目自由:3曲】 クラシック楽曲を1曲以上含む。	・音楽性 ・テクニック ・アンサンブル性 ・構成力 ・プレゼンテーション力 ・全体を通しての表現力 など含め総合的に評価
	管楽ピアノデュオ		
	室内楽		
	歌とピアノ	・日本歌曲1曲 ・自由曲（ジャンル自由）2曲	
	重唱	・日本歌曲又は唱歌1曲 ・自由曲（ジャンル自由）2曲	
	ピアノ連弾	・ピアノ連弾の為に作曲された任意の1曲 ・自由曲（ジャンル自由）1曲	

注意事項

- ・予選・本選ともに公開審査となります。予めご了承ください。（一般観覧者は秋頃募集します。）
- ・演奏時間は音の出だしから終わりまでの時間です。楽器の設置、チューニングは演奏時間に含まれません。
- ・予選時に演奏時間を越えた場合は、ベル等でカットする場合がありますが、減点の対象になりません。
- ・本選時においては、審査指標に「構成力」が含まれるため、演奏時間を超えたり、時間が大幅に満たない場合、また時間内に課題曲数を満たない場合は減点の対象となります。
- ・同じ曲でも楽章が異なれば、ひとつの楽章を1曲とみなします。
- ・「クラシック」楽曲とは、一般的なクラシック音楽の範疇に限ります。また、予選・本選ともにアコースティック楽器以外の演奏では参加出来ません。（電子楽器・音響機材不可）
- ・本選では、トーク用にワイヤレスマイクを舞台下手側に2本用意します。使用の有無は自由です。
- ・譜めくりが必要な場合は各自で用意してください。

第14回 サンハート・アンサンブル・コンクール 申込用紙

本申込書太枠内に必要事項を記入し、参加チケット右半券を貼付のうえ下記のいずれかの方法でご応募ください。

【来館】 横浜市旭区民文化センターサンハート窓口まで申込書をご持参ください。

【郵送】 〒241-0821 神奈川県横浜市旭区二俣川1-3 横浜市旭区民文化センターサンハート「アンサンブル・コンクール」係

【e-mail】 当申込書のスキャンングデータまたは写真を以下のメールアドレスにお送りください。
件名に「アンサンブルコンクール応募」と入力してください。
sunheart@sunheart.info

※太枠内をすべてご記入下さい。ただし、プロフィールについては、別紙を添付していただく事も可能です。（「別紙」と記入）
※参加料はいかなる理由であっても参加者都合の返金はいたしません。
※応募書類は返却いたしません。

受付番号

（受付日）

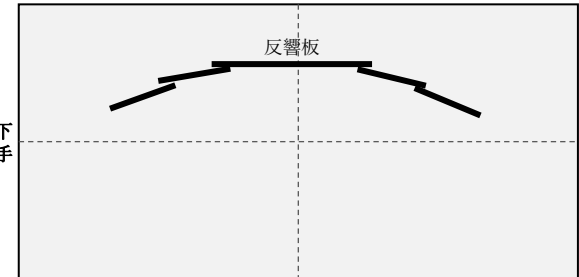
【参加チケット右半券貼付欄】
※徳、テープ等で剥がれないように貼ってください。

応募方法

フリガナ アンサンブル名				☐ 弦楽ピアノデュオ ☐ 管楽ピアノデュオ ☐ 室内楽 ☐ 歌とピアノ ☐ 重唱 ☐ ピアノ連弾 ※該当する部門に✓をつける		
フリガナ 代表者氏名						
フリガナ 演奏者氏名	フリガナ	パート	歳	フリガナ	パート	歳
※「氏名」「パート」「年齢」を記入して下さい。	フリガナ	パート	歳	フリガナ	パート	歳
	フリガナ	パート	歳	フリガナ	パート	歳
	フリガナ	パート	歳	フリガナ	パート	歳
代表者住所	〒					
代表者連絡先	【携帯】			【メール】 ※パソコンからのメール受信可能なアドレスをご記入ください。		
アンサンブル プロフィール	※枠を超える場合は別紙を添付して下さい。					
演奏曲目	予選①			本選①		
※「曲（作者／編曲者）」と記入して下さい。 ※本選で予選と同じ曲を演奏する事も可能です。	予選②			本選②		
				本選③		
ピアノ【ヤマハCFX】※ピアノは原則センター固定です。 ※どちらかに○ 有 ・ 無	ピアノ屋根 ※該当部分に○をつけてください 全開 ・ 半開 ・ クローズ			譜めくり ※譜めくりが必要な場合は各自で用意してください。 ※どちらかに○ 有 ・ 無		

舞台配置図（舞台間口は約12m、奥行は約5m音響反射板あり）

椅子、譜面台を使用する場合は設置場所にマーク(下図参照)を記入してください。



【注意事項】

- ※舞台上でのリハーサルはありません。（別途音出し部屋は用意いたします。）
- ※入退場は下手のみ。上手は使用できません。
- ※舞台上で利用できる当館備品は「ピアノ」「椅子」「譜面台」「マイク(本選)」のみです。（持ち替え等で、楽器を置く台などが必要な場合は事前にご相談ください）
- ※椅子、譜面台は左図に記入された場所へ主催者が設置しますが、譜面台の高さ調節は出演者ご自身で行っていただきます。
- ※小道具など、舞台上で使用するものは出演者ご自身で設置していただきます。
- ※曲間の転換は出演者ご自身で行っていただきます。
- ※お申込み後に変更することも可能ですが、必ずお電話またはメール等で担当までご連絡ください。
- ※その他、不明な点がございましたら応募前にお問い合わせください。

ホール舞台平面図
客席数 300席

